

# ビジネスと生活を変える 気象情報の活かし方

気象予報士 佐々木 恭子

- \* 予測が開始された線状降水帯のメカニズム
- \* 積乱雲が予測を難しくしている
- \* 「顕著な大雨に関する気象情報」にも注意
- \* 高い精度で予測しやすい台風
- \* 激甚化する気象災害の背景について
- \* 雨量と気温上昇の関係を考える
- \* 気候変動の将来予測と対策
- \* 気候リスク管理とは何か
- \* タイムスパン別天気予報の活用法
- \* 偏西風の蛇行について



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

本日は気象予報士の佐々木さんにおいていただきしました。今年皆さんよく異常気象という言葉を使われておりますけれども、雨や風の問題、いろいろなことで史上最高の記録が出たりして皆さんもご興味がおありかと思えます。この会で気象の話は実は3年前に一度偉い先生に来ていただいておりますが、今日はより身近にビジネスや生活にどういうふうに気象情報が生かせるかということでお話をいただくことになっております。

佐々木さんは1975年のお生まれで、早稲田大学第一文学部をご卒業後、番組制作会社でテレビ番組のディレクターをされ、その後、気象にご興味をお持ちになって気象予報士になら

れました。そういうことで、今企業向けの気象情報などの提供をされる一方、気象予報士のスキルアップのための講座などもやっておられるということでございます。

これからも台風が参りますし、われわれの身近な情報をきちんと理解するために今日はお話を十分伺えると思えます。それでは佐々木さんよろしくお願いいたします。（拍手）

**予測が開始された**

**線状降水帯のメカニズム**

佐々木 今ご紹介いただきましたましたが、私は合同会社でんコロという会社をやっております。でんコロというのは「天気はコロコロ変わる」の略です（笑）。ウケたのでちょっとご説明し